



東海道第十二宿  
沼津 ぬまづ

名物 鮎節  
みもの

沼津での見どころは、まず千本松原。見渡すかぎり続く松原の向こうに望む富士の眺めは、若山牧水ならずとも魅了される。周辺には頼朝・義経の対面の地・黄瀬川など源平ゆかりの史跡も多い。

沼津は中世には車返の名で呼ばれ、カシ手前の黄瀬川とともに東海道の宿場であった。このため沼津の中心街こそ現代的に変わっているものの、黄瀬川や海沿いの千本松原を含む周辺一帯では源平ゆかりの古い史跡にしばしば出会う。



千本松原は読んで名の通り幾千とも知れぬ松が海岸をえんえんと緑を成す。松林のある松原の向こうには、若く富士山とのとりあわせむすばらしいのでぜひ訪れてみたい。千本松原の風光を賛美した人は多いが中でも漂泊の詩人・若山牧水が有名である。千本松原から牧水は千本松原をこまかく変じたとう。当時はまだ(左)眺める富士山

防潮堤がなく砂浜と松が一体だったから、ほお美しかったろう。千本公園の中に幾山河こえうゆかば寂しさのはてなを国ぞけおも旅ゆくりの有名な歌碑がある。

